



今年もまた、クリスマスの季節になりました。

アロマ通信の12月号は、毎年クリスマスネタですが、今年も飽きずにやらせて頂きます。

今年のテーマは“宿り木”（ミスルトー）。

宿り木は、樹木の幹や枝の中に根をおろして成長する半寄生植物です。

主にイギリスやアメリカの風習らしいのですが、クリスマス、部屋に宿り木を飾ります。

その宿り木の下では、男の子は女の子にキスをしてもいいそうです。

そして女の子に拒否権はなく、また、宿り木の下でキスした男女は幸せになれると言い伝えられているそうです。

私は、中学生の頃オルコット（若草物語の）の“八人のいところ”を読んで知りました。

舞台は19世紀後半のアメリカ。

孤児になって父の本家に引き取られた少女・ローズと七人のいところの少年達との楽しいお話です。

裕福な一族の中の、たった一人のしおれた花みみたいな元気のない女の子。

彼女の教育をめぐる親族会議が開かれ、叔父様・叔母様達がけんけんがくがく。

でも、後見人でもある一人の叔父様が、一年だけ自分の教育方針でやってみて、ローズが病弱なままだったら他の人にゆだねるということになります。

“八人のいところ”は、ローズが叔父様の理想的な教育を受けて、健康で明るくのびやかに育っていく一年間の物語なのですが、その中のクリスマスの場面に“宿り木”がでてきます。

一族が集まったの楽しいクリスマス・ディナー。

長年の外国生活から、その日に間に合わせて帰ってきた叔父様の一人は、部屋中に宿り木があるように、姉妹達や大伯母様達にキスして歩き、また、足が悪くて車椅子の大伯母様には、頭に宿り木の小枝を乗せてキスしてあげたり。宿り木は、ディナーを盛り上げて大活躍します。

そして、ローズはいたずら好きないところ達の策略にかかってしまい、宿り木の下でいところの中でも、一番カチカチに気まじめな少年にキスすることになってしまいますが……。

暖かくて楽しいクリスマスの情景が浮かんでくる場面で、この物語の中で一番好きでした。いかにもアメリカのクリスマスらしい感じがして。

宿り木については、林望さんのエッセイ“イギリスは愉快だ”にも、記述があります。

また、私は観ていませんが、映画のハリー・ポッターにも出てくるそうです。

ハロウィンのように、じき日本にも入ってくるかもしれませんね。

きっと、男性諸君は大歓迎することでしょう。



12月お奨めのエッセンシャル・オイル・・・コリアンダー&ブラックペッパー



寒い冬の季節に心と体を温めてくれるブレンドです。

きりりとした香りは、この季節固まりがちな体を刺激してコリをやわらげ
また、胃を温めてくれます。



12月のハーブ・ティー

クリスマスっぽいイメージの紅茶です

オレンジピール・シナモン・セイロン

♥ トリートメント後のハーブ・ティーは、その日のお客様の体調に合わせたブレンドでお出しします

aromatherapy-salon

rose・drop

TEL090-3578-4048

静岡市清水区中矢部町19-17

吉田 浩子